

東金市第2次都市計画マスタープラン（原案）に係るパブリックコメント実施結果

本市では、令和2年11月25日から12月24日までの期間、「東金市第2次都市計画マスタープラン全体構想（素案）」についてのパブリックコメントを実施しました。

いただきました御意見及びそれに対する本市の考え方を、以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

※提出された御意見につきましては、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

1. パブリックコメントの実施結果

(1) 意見の提出者数 2名

意見数 2件

2. 意見の区分と対応内容

対応区分	対応内容	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	0
B	意見の趣旨等が原案に盛り込まれていると考えるもの	0
C	原案どおりとし、今後の施策の参考にするもの	2

No.	区分	意見内容	意見に対する本市の考え方
1	C	地域別構想 中央部地域 4. 分野別地域づくり方針 (2) 都市基盤施設整備 4) 快適で暮らしやすい社会基盤施設の充実 「原案文章を改正案の文章に変更をお願いします。」	都市計画マスタープランは、市全域の都市計画の基本方針を定めるものであり、原案において、市街地や郊外の一部での浸水軽減対策等に関する内容は既に記載済みのため、原案のとおりとさせていただきます。 なお、地域を特定した固有の課題（市道や河川、農業用排水

	<p><原案> 「気候変動の影響による降雨量の増加により市街地や郊外の一部で浸水や溢水等が発生しているため、雨水の流出抑制や水路の維持管理、改修等の総合的な治水対策を検討していきます。」</p> <p><改正案> 「気候変動の影響による降雨量の増加により市街地ほか、大和地区西部地域においては東金線を横断する農業用水の排水路が狭く、線路自体が堤防となっているため、西福俵区内に浸水し、大規模な道路冠水及び住宅被害の恐れ等が発生している。また、大和地区内の市道3本の冠水・通行不能、住宅集落の雨水による孤立及び帰宅困難等が発生しているため、雨水の流出抑制や水路の維持管理、境川の拡幅等の総合的な治水対策を積極的に推進していきます。」</p> <p><改正案の理由> ●大和区西部地域の洪水対策 ・降雨量の増加ばかりではなく、農業用排水路の流れが悪く、東金線線路が堤防となり流れをせき止め、西福俵区内に洪水が発生している。 ・排水の停滞により市道の冠水、通行止めが発生し、地域住民の生活に不安を増大させている。</p>	<p>路等の整備などの個別施策) に関するご意見につきましては、対策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> 一連の洪水の解決策として、線路下の境川の拡幅等の改修が必須である 	
2	C	<p>地域別構想 中央部地域 4. 分野別地域づくり方針 (2) 都市基盤施設整備</p> <p>「福俵駅のホーム移転」の追加</p> <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> 現駅ホームが踏切・道路・駐車場・送迎者の車両など問題点が多く、立地場所として適していない。 ホーム移転を当初から計画している交通広場ロータリーが存在しており、現行マスタープランの継続を要望する。 朝夕通勤通学者が多く、ロータリーの存在自体が福俵駅のホーム移転をするものだと待ち望んでいる。 雄蛇ヶ池観光の最寄り駅であり、将来的にシャトルバス、市内循環バス、福祉バスなどの発着拠点として大和地域の将来像に展開できる。 老朽した市の施設を更新する際、福俵周辺に移転することにより、東金線の利用者拡大を図ることができる。 	<p>現行の都市計画マスタープランが策定される以前は、人口が増加傾向にあり、大量輸送機関である鉄道への依存度が高まっている社会情勢であったため、駅周辺の土地利用と合わせて、駅利用者の利便性向上に向けた検討の中で、福俵駅のホーム移転についても記載していました。</p> <p>しかしながら、社会情勢の変化により今後更なる人口減少社会を迎える中で、効率的・効果的な都市経営の観点から、コンパクトな市街地形成を図りながら、既存ストックを有効的に活用していく方針としているため、今後もホーム移転は難しいものと考えています。</p>